

ご参考:2026年度入試問題(日本語教育学)
(9月13日、11月22日、2月21日実施)

関西学院大学大学院
言語コミュニケーション文化研究科
博士課程前期課程

入 学 試 験 (日本語教育学)

—2025年9月13日実施—

注意:試験時間は90分(10:00~11:30)です。

問題を解く前に必ず以下の受験番号、氏名を記入してください。

受 験 番 号	
氏 名	

【問題1】

現在、日本国内において、どのような学習者への日本語教育が最も重要だと考えるか、具体的な対象者とその理由について、あなたの考えを600字程度で述べなさい。なお、解答は【問題1】解答欄に書くこと。

【問題2】

次の問題群A・B・Cからそれぞれ1問ずつ選び、【問題2】解答欄に解答しなさい。なお、選んだ問題の番号を冒頭に書くこと。

問題群A

1. 日本語教師の資格として、「登録日本語教員」が国家資格となったことについて、どのような社会背景があったと考えられるか、説明しなさい。
2. ルーブリックを用いた評価とはどのようなものか、説明しなさい。また、ルーブリックによる評価のメリットと問題点をそれぞれ具体的に述べなさい。

問題群B

3. 以下のa、bそれぞれの2つの文について、下線部の違いを述べなさい。
 - a. 彼女はどうやら転職したようだ。
彼女はまるでお姫さまのようだ。
 - b. そろそろ電車が来るはずだよ。
英語ができるはずだよ。彼、留学経験があるんだって。
4. 日本語の授受表現の動詞「あげる」「もらう」「くれる」における人称制限について、具体的な例を挙げながら説明しなさい。

問題群C

5. 「言語態度」について、具体例を挙げながら説明しなさい。
6. あなたが2人の友人(A、B)と一緒に満員電車に乗っている時、あなたはAに対して、Aの新しい洋服を褒めたとする。オーディエンス・デザイン理論の見地から、その場面に存在しうる、3種類以上のオーディエンスについて説明しなさい。

【問題 1】 解答欄

A large grid of dashed lines, intended for writing answers. The grid consists of 20 columns and 30 rows of squares. A solid horizontal line is drawn across the bottom of the grid, approximately one-third of the way up from the bottom edge of the page.

関西学院大学大学院
言語コミュニケーション文化研究科
博士課程前期課程

入 学 試 験 (日本語教育学)

—2025年11月22日実施—

注意：試験時間は90分（10：00～11：30）です。
問題を解く前に必ず以下の受験番号、氏名を記入してください。

受 験 番 号	
氏 名	

【問題 1】

日本で暮らす外国籍住民の急増に伴い、近年、「やさしい日本語」に対する関心が高まっている。「やさしい日本語」の特徴を簡潔に述べた上で、その利点と問題点についてのあなたの考えを 600 字程度で述べなさい。なお、解答は【問題 1】解答欄に書くこと。

【問題 2】

次の問題群 A・B・C からそれぞれ 1 問ずつ選び、【問題 2】解答欄に解答しなさい。なお、選んだ問題の番号を冒頭に書くこと。

問題群 A

1. 言語教育における「対照分析」とはどのようなものか、その理論的背景や具体的な例を挙げながら説明しなさい。
2. あなたが日本語学校で中級レベルのクラスを担当していると想定する。そして授業中に一人の学習者から以下の下線部の発話について質問があった。その場でどのように説明するか具体的に述べなさい。
「そんなことあるくない？」

問題群 B

3. 日本語には存在を表す動詞として「ある」と「いる」の 2 つがある。この区別は何に基づいてなされるかを、それぞれ例を挙げて説明しなさい。
4. 以下の a と b の違いと、なぜそのような違いが生じるのかについて説明しなさい。
 - a. 仕事と勉強の部屋
 - b. 仕事と勉強部屋

問題群C

5. 以下のAとBのやりとりについて、2つの問いに答えなさい。

1A: 明日って学校に来てる？

2B: 明日？んー

3A: 来る予定ない？

- ① Bは1行目の発話をどのように理解したと考えられるか。2行目のBの発話の特徴に言及しながら述べなさい。
 - ② Aは2行目のBの発話をどのように理解したと考えられるか。3行目のAの発話の特徴に言及しながら述べなさい。
6. 「役割語」について、具体例を挙げながら説明しなさい。

関西学院大学大学院
言語コミュニケーション文化研究科
博士課程前期課程

入 学 試 験 (日本語教育学)

—2026年2月21日実施—

注意：試験時間は90分（10：00～11：30）です。

問題を解く前に必ず以下の受験番号、氏名を記入してください。

受験番号	
氏名	

【問題 1】

今まで見た（教師や学習者として使ったことのある）日本語の教科書における登場人物について気になったことを、具体例を挙げつつ述べなさい。また、あなたが日本語の教科書の作成に関わっていると想定し、その教科書に登場させたい人物とその理由について 600 字程度で論じなさい。なお、解答は【問題 1】解答欄に書くこと。

【問題 2】

次の問題群 A・B・C からそれぞれ 1 問ずつ選び、【問題 2】解答欄に解答しなさい。なお、選んだ問題の番号を冒頭に書くこと。

問題群 A

1. 日本語教育で用いられる「日本語教育の参照枠」について、その概要と意義を述べなさい。
2. 以下のやりとりについて、問いに答えなさい。
 - 1 A: 息子さん、就職が決まったそうですね。
 - 2 B: (a) ええ、そうですね。/(b) ええ、そうです。
 - ① B の 2 行目の応答が (a) の場合と (b) の場合ではニュアンスが異なる。どのように異なるのかを述べなさい。
 - ② なぜニュアンスが異なるのかを説明しなさい。

問題群 B

3. 日本語のアクセントについて、知るところを述べなさい。
4. 以下の 2 つの文は、存在を表す動詞「ある」の例外と考えられるものである。これらがなぜ間違いとはならないのかについてそれぞれ説明しなさい。
 - a. (タクシー乗り場で)「あれ、タクシーがない」
 - b. 駅から大学まで徒歩で来る人もあればバスで来る人もある。

問題群C

5. 「言語とは陸軍と海軍を備えた方言である」(マックス・ヴァインライヒ)
上の諺の意味について、具体例を挙げながら説明しなさい。

6. This is my friend Jay. They like coffee.

上の例文における「they」(下線部)の用法は2019年、米国の Merriam-Webster 辞書出版社より「Word of the Year」として選出された。日本語について、同様のノンバイナリー人称代名詞を設定する可否について論じなさい。

*「ノンバイナリー」とは、「男」と「女」のいずれかのジェンダーに人類が属しているという社会規範にとらわれない、すべてのジェンダー・アイデンティティを指す。

